

Bluetooth®インターフェース
モバイルバーコードスキャナ
BW-130BT2
プログラミング設定コードシート
Version 0001.0016以上用



アイメックス株式会社

BW130BT2-20130910

改定表

改訂番号	改訂日	備考
初版	2012.09.19	
Rev.1	2012.11.28	ファームウェアVersion 0001.0013 対応
Rev.2	2013.02.01	ファームウェアVersion 0001.0016 対応

注意事項:

本設定コードは、ファームウェアversion 0001.0015以降に対応していますので、以前のファームウェアバージョンのBW-130BT2では正常に動作できなくなりますので、この設定コードをスキャンしないでください。

目 次

設定方法	3
設定手順	3
共通設定	4
機能設定	4
工場出荷状態	4
Bluetoothモード設定	5
Bluetooth設定	5
BTデータフォーマット設定	5
キーボード設定	6
メモリモード設定	7
データフォーマット設定	7
メモリモード	9
コードID設定	9
シンボル設定	10
JAN13/EAN13	10
JAN8/EAN8	10
UPC-A	11
UPC-E	11
Code 39	12
Code 128	13
Codabar (NW7)	14
Interleaved 2of 5 (ITF)	15
Code 93	15
GS1-DataBar	16
オムにディレクション	16
リミテッド	16
スタック	17
エクспанデット	17
エクспанデットスタック	18
パラメータ設定用	19
システム(時間合わせ)	19
ASCIIコード表	20

設定方法

BW-130BT2は、設定を開始するために「設定開始」コードをスキャンしてプログラミングモードへ変更します。このコードをスキャンしないとBW-130BT2は各設定コードを通常のバーコードとして処理します。

各設定コードを有効にするために「設定終了」コードをスキャンして通常モードへ戻します。このコードをスキャンすることで各設定内容をBW-130BT2本体メモリに保存して機能を有効にします。

プログラミングモード中に設定した内容を破棄する場合には、「設定中止」コードをスキャンします。このコードをスキャンするとプログラミングモードに変更する前の状態に戻して通常モードへ戻します。

BW-130BT2で設定変更を行うためには、コネクション状態(スキャン可能な状態)にする必要があります。工場出荷状態では、Bluetooth SPP通信モードに設定していますので、Bluetooth接続できる機器(以下機器と略す)とのペアリングを事前に行います。

BW-130BT2をコネクション状態にできない場合には、プログラミングモードで起動することで設定変更が可能となります。プログラミングモードで起動する方法は、BW-130BT2本体のトリガボタンを押しながら乾電池を挿入します。ブザー音が流れてグッドリード表示LEDが緑色点滅に変わったらトリガボタンを離してください。プログラミングモードで起動しましたので設定を開始してください。(「設定開始」コードのスキャン不要)

設定手順

1. 「設定開始」コードをスキャンします。
ビープ音が流れてグッドリード表示LEDが緑色点滅します。(プログラミングモードに設定完了)
2. 設定コードをスキャンします。設定値を伴う設定コードは、パラメータ設定用コードを利用して設定値を入力します。なお、パラメータ設定用コードで入力終了を確認するために「確定」コードをスキャンします。
※各設定コードは連続してスキャンできます。
※設定値の多くは、16進数(00~FF)で入力します。
※設定値の入力を中止する場合には、「クリア」コードをスキャンします。
3. 「設定終了」コードをスキャンします。
ビープ音が流れてグッドリード表示LEDが消灯します。(通常モードに変更完了)
※設定値はBW-130BT2本体メモリに保存され設定機能が有効になります。
4. プログラミング作業を中止する場合には、「設定中止」コードをスキャンします。
ビープ音が流れてグッドリード表示LEDが消灯します。(通常モードに設定完了)
※「設定終了」コードはスキャンしないでください。
※設定した内容は破棄され、プログラミングモードに設定する前の状態に戻ります。

設定値入力:

(例1) 各種の時間設定 30秒を設定する場合

「設定開始」→「時間設定」→「3」→「0」→「確定」→「設定終了」

(例2) SuffixDataにTABを設定する場合

「設定開始」→「サフィックス出力コード設定」→「0」→「9」→「確定」→「設定終了」

※TABは、ASCIIコード表で「09(16進数)」です。

- 設定が間違っている場合には、警告音を鳴らします。再度確認して設定を続けてください。
- 正常に動作しない場合は、販売店にご連絡ください。



【共通設定】
機能設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
初期化(インターフェース以外)			
バージョン出力			
パワーオフタイマー	分	2	
ビープ音設定	標準動作	◎	
	警告音消音		
	読取音消音		
	完全消音		
読取時ブザー音量	レベル4(大)	◎	
	レベル3(中)		
	レベル2(中小)		
	レベル1(小)		
警告時ブザー音量	レベル4(大)	◎	
	レベル3(中)		
	レベル2(中小)		
	レベル1(小)		
読取時ブザー音程	0~255(100Hz)	27(2.7KHz)	
読取時ブザー出音時間	0~255(10m秒)	10(100m秒)	
バイブレーション設定	標準動作		
	警告時停止		
	読取時停止		
	完全停止	◎	
バイブレーション振動時間	0~255(10m秒)	5(50m秒)	
スキャン時間	0~255(1秒)	10(10秒)	
スタンバイ時間	0~255(1秒)	120(2分)	
ダブル確認設定	禁止	◎	
	許可		
ダブル確認回数	1~10	1	





【Bluetoothモード設定】

Bluetooth設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
デバイスネーム	12桁まで	BW130BT2	
接続先Bluetoothアドレス※1	12桁		
PINコード	8桁まで	1234	
ペアリング開始時間	1~10(1秒)	5(5秒)	
Bluetoothモード	SPP Master	◎	
	SPP Slave		
	HID		
	iPhone/iPad HID		
	BTR-UK3		
ハンドシェイク	ACK/NAK ID +STX-ETX	◎	
	ACK/NAK+STX-ETX		
	ACK/NAK		
	無手順		
ACKタイムアウト	秒	3	
Bluetooth接続確認音	禁止	◎	
	許可		
Bluetooth&メモリモード選択	両モード	◎	
	Bluetooth専用		
BT再接続タイムアウト	秒	30	

※1: 接続先Bluetoothアドレスで設定した値は、ペアリング操作ではクリアされませんのでご注意ください。

BTモードデータフォーマット設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
コードID出力	禁止	○	
	許可		
コードIDポジション	データの前	○	
	データの後		
プレアンブル	禁止	○	
	許可		
プレアンブルデータ	2桁まで		
ポストアンブル	禁止	○	
	許可		
ポストアンブルデータ	2桁まで	CR/LF	



BTモードデータフォーマット設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
プリフィックス	禁止	◎	
	許可		
プリフィックスデータ	8桁まで		
サフィックス	禁止	◎	
	許可		
サフィックスデータ	8桁まで		

キーボード設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
CapsLock	自動	◎	
	自動大小反転		
	小文字		
	大文字		
HID通信 キーボード種別	US		
	UK		
	JP	◎	
	FR		
	GR		
	IT		
	SP		
	PO		

*設定開始は読取不要です

	BTR-UK3変更		
BTR-UK3専用 キーボード種別	US		
	UK		
	JP	○	
	FR		
	GR		
	IT		
	SP		
	PO		
	BTR-UK3登録		



【メモリーモード設定】

データフォーマット設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
メモリーモード	BT → メモリ		
	メモリ → BT		
ブザー音設定	標準動作	◎	
	警告音消音		
	読取音消音		
	完全消音		
読取時ブザー音量	レベル4(大)	◎	
	レベル3(中)		
	レベル2(中小)		
	レベル1(小)		
警告時ブザー音量	レベル4(大)	◎	
	レベル3(中)		
	レベル2(中小)		
	レベル1(小)		
読取時ブザー音程	0~255(100Hz)	27(2.7KHz)	
読取時ブザー出音時間	0~255(10m秒)	10(100m秒)	
バイブレーション設定	標準動作		
	警告時停止		
	読取時停止		
	完全停止	◎	
バイブレーション振動時間	0~255(10m秒)	5(50m秒)	
プレアンブル	禁止	◎	
	許可		
プレアンブルコード	2桁まで		
プリフィックス	禁止	◎	
	許可		
プリフィックスコード	8桁まで		
ポストアンブル	許可	◎	
	禁止		
ポストアンブルコード	2桁まで	CR+LF	
サフィックス	禁止	◎	
	許可		
サフィックスコード	8桁まで		

設定開始



設定終了



設定中止



【メモリーモード設定】

データフォーマット設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
コードID出力	禁止	◎	
	許可		
コードID出力位置	データの前	◎	
	データの後		
コード名出力	禁止	◎	
	許可		
コード文字数出力	禁止	◎	
	許可		
シリアル番号付加	禁止	◎	
	許可		
日付スタンプ	許可	◎	
	禁止		
日付フォーマット	YYYYMMDD	◎	
	MMDDYYYY		
	DDMMYYYY		
	MMDDYY		
	DDMMYY		
日付区切り文字	1桁	/	
時間スタンプ	許可	◎	
	禁止		
時間フォーマット	HHMMSS	◎	
	HHMM		
	MMSS		
時間区切り文字	1桁	:	
ヘッダー	許可	◎	
	禁止		
ヘッダー文字	8桁まで	*Start*	
フッター	許可	◎	
	禁止		
ヘッダー文字列	8桁まで	*End*	
CapsLock	自動	◎	
	自動大小反転		
	小文字		
	大文字		

設定開始



* / S % E N T *

設定終了



* Z E N D *

設定中止



* Z E X T *

【メモリーモード設定】

データフォーマット設定

機能	パラメーター	初期値	設定コード
蓄積データ自動削除	禁止	◎	
	許可		

メモリーモード

***設定開始は読取不要です**

機能	コマンドバーコード
BTモード→メモリーモード	
メモリーモード→BTモード	
メモリー送信	
メモリークリア	

設定開始



* / S % E N T *

設定終了



* Z E N D *

設定中止



* Z E X T *

【コードID設定】

コード	初期値	設定コード
JAN-13	F	
JAN-8	FF	
UPC-A	A	
UPC-E	E	
Codabar/NW7	N	
Code-39	M	
Code 93	L	
Code-128	K	
GS1-128	K	
Interleaved 2 of 5	I	
GS1 DataBar Omni-Directiona	T	
GS1 DataBar Limited	U	
GS1 DataBar Stacked	V	
GS1 DataBar Expanded	W	
GS1 DataBar Expanded & Stacked	X	

※IDコード値は、19ページのパラメーター設定用コードを利用して16進数で入力します。

シンボル設定

設定開始



設定終了



設定中止



JAN13/EAN13

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	 * D 4 0 0 1 *
	禁止		 * D 4 0 0 0 *
先頭ゼロ	出力	◎	 * D 4 0 6 1 *
	削除		 * D 4 0 6 0 *
チェックデジット出力	許可	◎	 * D 4 0 7 1 *
	禁止		 * D 4 0 7 0 *
ISBN変換 ^{※1}	禁止	◎	 * D 4 0 2 0 *
	許可		 * D 4 0 2 1 *
アドオン設定	禁止	◎	 * D 4 1 9 0 *
	アドオン 2と5 許可		 * D 4 1 9 3 *
	アドオン 2 許可		 * D 4 1 9 1 *
	アドオン 5 許可		 * D 4 1 9 2 *
IDコード	2桁	F	 * D 5 C E 3 *

※1: ISBN変換は書籍JANコード(13桁)をISBNコードに変換します。チェックデジットを含めて変更します。
書籍JANコード: 9784789833196 をスキャンして 4789833194 (ISBNコード)に変換出力。

JAN8/EAN8

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	 * D 6 0 0 1 *
	禁止		 * D 6 0 0 0 *
先頭ゼロ	出力	◎	 * D 6 0 6 1 *
	削除		 * D 6 0 6 0 *
チェックデジット出力	許可	◎	 * D 6 0 7 1 *
	禁止		 * D 6 0 7 0 *
アドオン設定	禁止	◎	 * D 6 1 9 0 *
	アドオン 2と5 許可		 * D 6 1 9 3 *
	アドオン 2 許可		 * D 6 1 9 1 *
	アドオン 5 許可		 * D 6 1 9 2 *
IDコード	2桁	FF	 * D 7 C E 3 *



UPC-A

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	
	禁止		
先頭ゼロ付加 ^{※1} (JAN13)	許可	◎	
	禁止		
チェックデジット出力	許可	◎	
	禁止		
アドオン設定	禁止	◎	
	アドオン 2と5 許可		
	アドオン 2 許可		
	アドオン 5 許可		
IDコード	2桁	A	

※1:UPC-Aは、本来12桁ですが、先頭に「0」を付加してJAN13と同じ13桁表示します。

UPC-E

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	
	禁止		
先頭ゼロ付加 ^{※2} (JAN8)	許可	◎	
	禁止		
追加ゼロ付加 ^{※3} (JAN13)	禁止	◎	
	許可		
チェックデジット出力	許可	◎	
	禁止		
アドオン設定	禁止	◎	
	アドオン 2と5 許可		
	アドオン 2 許可		
	アドオン 5 許可		
IDコード	2桁	E	

※2:UPC-Eは、本来7桁ですが、先頭に「0」を付加してJAN8と同じ8桁表示します。

※3:追加ゼロ付加は、UPC-EをJAN13と同じ13桁表示します。ただし、先頭ゼロ付加が許可設定時のみ有効となります。出力例: 4522553(UPC-E) → 0045225000053(JAN13)



Code 39

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	
	禁止		
スタート/ストップ出力	禁止	◎	
	許可		
先頭ゼロ	出力	◎	
	削除		
チェックデジット有無 ^{※1}	全データ	◎	
	有データ		
チェックデジット出力 ^{※2}	許可	◎	
	禁止		
Full ASCII	禁止	◎	
	許可		
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
IDコード	2桁	M	

※1:チェックデジット有無で「有データ出力」を選択するとチェックデジット無しのCode39はスキャンしません。

※2:「有データ出力」選択時のみ、チェックデジット出力の許可/禁止が有効になります。



Code 128

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	 * D A 0 0 1 *
	禁止		 * D A 0 0 0 *
先頭ゼロ	出力	◎	 * D A 0 6 0 *
	削除		 * D A 0 6 1 *
チェックデジット出力	禁止	◎	 * D A 0 7 0 *
	許可		 * D A 0 7 1 *
出力フォーマット	標準	◎	 * D A 1 A 0 *
	UCC128 ^{※1}		 * D A 1 A 1 *
	GS1-128 ^{※2}		 * D A 1 A 2 *
マーク出力 ^{※3}	禁止	◎	 * D A 0 5 0 *
	許可		 * D A 0 5 1 *
区切り文字 ^{※4}	1桁	( * D B 1 E 2 *
最少桁数制限	0 ~ 255		 * D B 2 E 0 *
最大桁数制限	0 ~ 255		 * D B 3 E 0 *
IDコード	2桁		 * D B C E 3 *

※1:「UCC128」に設定するとAIM ID「]C1 」をデータの先頭に付加します。

※2:「GS1-128」に設定するとAI制御コードを括弧「()」で括ります。

※3:マーク出力はUCC128データ中に含まれる FNC1 を区切り文字で表示します。

※4:区切り文字をNUL「00」に設定すると FNC1 を<GS>で表示します。



Codabar (NW7)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	許可	◎	
	禁止		
スタート/ストップ出力	禁止	◎	
	許可		
スタート/ストップ 同一確認 ^{※1}	禁止	◎	
	許可		
スタート/ストップ文字	ABCD 大文字	◎	
	abcd 小文字		
	TN*E 大文字		
	tn*e 小文字		
先頭ゼロ	出力	◎	
	削除		
チェックデジット有無 ^{※2}	全データ出力	◎	
	有データ出力		
チェックデジット出力 ^{※3}	禁止	◎	
	許可		
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
IDコード	2桁	N	

- ※1: スタート/ストップ同一確認で「許可」を選択すると同一文字のコードのみをスキャンします。
- ※2: チェックデジット有無で「有データ出力」を選択するとチェックデジット無しのNW7はスキャンしません。
- ※3: 「有データ出力」選択時のみ、チェックデジット出力の許可/禁止が有効になります。

設定開始



* / S % E N T *

設定終了



* Z E N D *

設定中止



* Z E X T *

Interleaved 2 of 5 (ITF)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	* D E 0 0 0 *
	許可		* D E 0 0 1 *
先頭ゼロ	出力	◎	* D E 0 6 0 *
	削除		* D E 0 6 1 *
チェックデジット有無 ^{※1} (JIS-X-0520含む)	全データ出力	◎	* D E 1 8 0 *
	有データ出力		* D E 1 8 1 *
チェックデジット出力 ^{※2}	禁止	◎	* D E 0 7 0 *
	許可		* D E 0 7 1 *
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* D F 2 E 0 *
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* D F 3 E 0 *
IDコード	2桁	I	* D F C E 3 *

※1:チェックデジット有無で「有データ出力」を選択するとチェックデジット無しのNW7はスキャンしません。

※2:「有データ出力」選択時のみ、チェックデジット出力の許可／禁止が有効になります。

Code 93

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	* E 4 0 0 0 *
	許可		* E 4 0 0 1 *
先頭ゼロ	出力	◎	* E 4 0 6 0 *
	削除		* E 4 0 6 1 *
チェックデジット出力	禁止	◎	* E 4 0 7 0 *
	許可		* E 4 0 7 1 *
チェックデジット確認 ^{※1}	2文字	◎	* E 4 1 8 2 *
	1文字		* E 4 1 8 1 *
	無効		* E 4 1 8 0 *
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* E 5 2 E 0 *
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* E 5 3 E 0 *
IDコード	2桁	L	* E 5 C E 3 *

※1:チェックデジット出力で「禁止」設定時の出力しない文字数を設定します。

設定開始



* / S % E N T *

設定終了



* Z E N D *

設定中止



* Z E X T *

GS1 DataBar オムニディレクショナル(RSS14)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	* E E 0 0 0 *
	許可		* E E 0 0 1 *
AI制御コード()表示	許可	◎	* E E 0 4 1 *
	禁止		* E E 0 4 0 *
マーク(AIM ID)表示	禁止	◎	* E E 0 5 0 *
	許可		* E E 0 5 1 *
先頭ゼロ ^{※1}	許可	◎	* E E 0 6 0 *
	禁止		* E E 0 6 1 *
チェックデジット出力	禁止	◎	* E E 0 7 0 *
	許可		* E E 0 7 1 *
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* E F 2 E 0 *
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* E F 3 E 0 *
IDコード	2桁	L	* E F C E 3 *

※1: AI制御コードの括弧括り表示を「禁止」に設定した時のみ有効になります。

GS1 DataBar リミテッド(RSS-Limited)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	* F 0 0 0 0 *
	許可		* F 0 0 0 1 *
AI制御コード()表示	許可	◎	* F 0 0 4 1 *
	禁止		* F 0 0 4 0 *
マーク(AIM ID)表示	禁止	◎	* F 0 0 5 0 *
	許可		* F 0 0 5 1 *
先頭ゼロ ^{※1}	許可	◎	* F 0 0 6 0 *
	禁止		* F 0 0 6 1 *
チェックデジット出力	禁止	◎	* F 0 0 7 0 *
	許可		* F 0 0 7 1 *
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* F 1 2 E 0 *
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	* F 1 3 E 0 *
IDコード	2桁	L	* F 1 C E 3 *

※1: AI制御コードの括弧括り表示を「禁止」に設定した時のみ有効になります。



GS1 DataBar スタック(RSS-Stacked)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	
	許可		
AI制御コード()表示	許可	◎	
	禁止		
マーク(AIM ID)表示	禁止	◎	
	許可		
先頭ゼロ※1	許可	◎	
	禁止		
チェックデジット出力	禁止	◎	
	許可		
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
IDコード	2桁	L	

※1: AI制御コードの括弧括り表示を「禁止」に設定した時のみ有効になります。

GS1 DataBar エクスパンデット(RSS-Expanded)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	
	許可		
AI制御コード()表示	許可	◎	
	禁止		
マーク(AIM ID)表示	禁止	◎	
	許可		
先頭ゼロ※1	許可	◎	
	禁止		
チェックデジット出力	禁止	◎	
	許可		
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
IDコード	2桁	L	

※1: AI制御コードの括弧括り表示を「禁止」に設定した時のみ有効になります。



GS1 DataBar エクスパンデット・スタック(RSS-Expanded+Stacked)

項目	パラメーター	初期値	設定コード
読取	禁止	◎	
	許可		
AI制御コード()表示	許可	◎	
	禁止		
マーク(AIM ID)表示	禁止	◎	
	許可		
先頭ゼロ※1	許可	◎	
	禁止		
チェックデジット出力	禁止	◎	
	許可		
最少桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
最大桁数制限	0 ~ 255	0 (無制限)	
IDコード	2桁	L	

※1: AI制御コードの括弧括り表示を「禁止」に設定した時のみ有効になります。



パラメーター設定用

設定値	設定コード		設定値	設定コード
0			8	
1			9	
2			A	
3			B	
4			C	
5			D	
6			E	
7			F	

確定			クリア	
----	--	--	-----	--

※パラメーター値は、「確定」を入力した時点でセットされます。必要に応じて「設定終了」をスキャンしてください。

システム

機能	パラメータ	設定コード
バージョン出力		
日時設定	YYMMDDhhmmss	
完初期化		

※日時設定：YYは西暦の下2桁、MMは月2桁(先頭0)、DDは日2桁(先頭0)
hhは時2桁(24時間/先頭0)、mmは分(先頭0)、ssは秒(先頭0)
の固定フォーマットで入力してください。

例：西暦2013年3月27日 午後1時30分0秒の場合
130327133000<確定>

ASCIIコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	”	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	え	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAM	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE



アイメックス株式会社

〒146-0094

東京都大田区東矢口2-4-14

Tel (03)3750-0511 / Fax (03)3756-0611